



理事長 上原 春男

理事長からのご挨拶

私が佐賀大学において海洋温度差発電の研究を自分のライフワークと決めてから30年以上が経ちますが、2005年3月の定年退職を機に、海洋温度差発電の更なる推進を図るため、NPO法人 海洋温度差発電推進機構を設立し、理事長に就任いたしました。

お蔭様で近年、私どもの海洋温度差発電は国内外から注目されるまでに成長してまいりました。2004年4月のニューヨーク・国連本部での講演や2005年1月のモーリシャスでの国連会議への出席等で、国内でも実用化へ向けた動きが活発になってきております。このニュースレターを通じて皆様に海洋温度差発電の推進状況を発信していきたいと思っています。

最新のニュース

新理事と新監事の選出

10月13日に佐賀事務所において平成17年度臨時理事会、臨時総会が開催されました。申し出があった里見公直理事、中村敏郎理事、そして中島秀俊監事の辞任が承認されました。新たに中岡 勉^{つとむ}氏、中野 啓^{あきら}氏を理事に、永田 賢^{まさる}氏を監事に選出し、就任を承諾していただきました。

対馬沖の海洋調査近況

対馬沖にOTECが設置できるかどうかの海洋調査が、4月、6月、8月と行われ、対馬沖の温度差が明らかになりました。

祝・佐賀大学海洋エネルギー研究センター

佐賀大学海洋エネルギー研究センターの海洋温度差発電の開発が愛知万博（愛・地球博）開催を記念して設立された「愛・地球賞」を受賞しました。この賞は地球環境問題の解決と人類・地球の持続可能性に大きな貢献をし、二十一世紀の社会にふさわしい「新規性」と「普遍性」のある地球環境技術のうち世界中から百件に賞を授与されました。9月1日の授賞式には池上康之副センター長（OPOTEC 副理事長）が列席されました。賞金は百万円。おめでとうございます。



国外ニュース

海洋流体エネルギー分野が専門で、佐賀大学客員教授として2004年3月まで佐賀に滞在されていたジャマイカのウエスト・インディーズ大学の Al Binger (アル ビンガー) 教授の協力を得て、SIDS (小島しょ開発途上国) や国連の動き、カリブ海、太平洋、インド洋、アフリカ諸国での OTEC 関連ニュースを中野フチ子がお伝えします。



Al Binger 教授

OTEC 関係では頻りに目にしたり耳にする SIDS とは、Small Islands Developing States の略語で南太平洋やインド洋、カリブ海などに浮かぶ島国の発展途上国 “小島しょ国” の総称。国連は現在、37カ国と14地域を SIDS としてリストしているが、ほとんどの国土の標高は低く、温暖化による海面上昇や異常気象で大きな被害を受けると予想される。

- 4月5日、中野フチ子が海外渉外コーディネーターとして OPOTEC の仲間入りし、海外との連絡開始。
- 4月7日、モーリシャスの大臣が4月11日から3日間来日するとの知らせあり。
- 4月8日、Al Binger 氏からカリブ海および太平洋での商業用プラントの建設について来日して話し合いたいとのメールあり。
- 4月13日、モーリシャスの国連大使 (在ニューヨーク) Koonjul 氏から Al Binger 氏にメール連絡があり「モーリシャスの大臣の来日は確実ではない。」とのこと。
- 5月28日、Al Binger 氏からメールあり。「国連では、IPOE による OTEC の提案を SIDS は検討中です。すでに UNEP では検討済みで、UNEP が実際に指揮・調整します。OTEC の要望書は1~2ヶ月のうちに AOSIS (Alliance of Small Island States, 小島しょ国同盟) から、正式に GEF に提出されるでしょう。モーリシャスでは選挙を控え、大きな動きはありません。カリブでも OTEC の推進には積極的で、モーリシャスで展示された OTEC 施設のようなものをアメリカと協力して建設することを検討中です。」
- 7月7日、Al Binger 氏からメールあり。「この2~3週間内に国連総会はモーリシャス・ドキュメントを承認するでしょう。そうなれば、我々は OTEC 計画の実行に向けて、GEF の公的サポートが得られます。」
- 8月8日、Al Binger 氏からメールあり。「9月13日から20日にかけての国連総会には SIDS の首脳がニューヨークに集まり、OTEC のことが討議されるでしょう。」
- 8月27日、Al Binger 氏からメールあり。「上原先生に伝えてください。7月に予定されていた OTEC 関連の議題は9月12日の週に SIDS のトップが集まって討議されると思われます。」
- 9月9日、パラオの第11回独立記念式典組織委員長のコシバ資源・開発大臣から上原理事長に10月1日の独立記念の式典への招待状が届く。上原理事長は日程調整がつかず訪問を断念。

9月26日、Al Binger氏からメールあり。「国連での OTEC 関連の討議はまだ始まっていません。Koonjul 大使は、彼がモーリシャスに一時帰国する前に話し合いたい希望です。私はモーリシャス政府から OTEC プロジェクトの推進のために招待されました。11月に出かけますが、新政権の新しい首相や主要な大臣と会ってきます。」

10月10日、Al Binger氏からメールあり。「カリブ海の“セント・キッツ アンド ネービスの Douglas 首相が来週日本を訪問しますが、是非とも、上原先生と再会し、OTEC の見学もしたいそうです。」しかし、双方の日程の調整がつかず、実現ならず。

UNEP (United Nations Environment Programme, 国連環境計画): 1972年に国連人間環境会議で採択された「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」を実施に移すための機関として、国連総会決議に基づき設立された。(国連ホームページより抜粋)

GEF (Global Environment Facility, 地球環境ファシリティ): 各国政府、主要開発機関、科学団体、広範囲に及び民間セクター及び非政府組織から関係者を集めて、地球環境に関する共通課題に取り組んでいる。GEFは国連開発計画、国連環境計画、世界銀行を実施機関として資金提供を行い、開発途上国で行う地球環境保全対策に対して原則として無償資金を供与する国際的資金メカニズムで、運営は総会及び評議会により行われる。(国連ホームページより)

IPOE (International Panel of OTEC Experts, OTEC 専門家による国際委員会): UNEP/GEFによって招集・委託される OTEC 専門家の委員会。メンバーには日本、フランス、米国等の OTEC 開発に熱心な国々、開発途上国、OTEC に関心を示す小島しょ国の代表、又は実演用 OTEC の候補地の代表、OTEC の技術に優れた科学者やエンジニア、国際経済の専門家などから構成される。IPOEはプロジェクトの最終報告の指導、関与、再調査、承認等を行う。日本からは上原理事長、ゼネシス社長 里見公直氏、神戸製鋼所の福田正人氏の3名が委員に選ばれました。(国連 STAP レポートより)

AOSIS (Alliance of Small Islands Developing States, 小島しょ国同盟): メンバーはアフリカ、カリブ海、インド洋、地中海、太平洋、南シナ海などの43の国とオブザーバーから成り、そのうちの37ヶ国は国連加盟国。

上原理事長、大連講演で大歓迎

7月18日から22日まで上原理事長と上原紀子渉外部長は中国・大連市の大連市科学技術協会からの招待で訪中。大連市と姉妹都市である伊万里市の市職員が同行して、OTECに関する講演を行いました。参加者の OTEC への興味・関心は高く、質問が殺到したそうです。

柳井氏トップ当選、おめでとうございます!

6月22日、ニューヨーク国連本部で国際海洋法裁判所(ドイツ・ハンブルク)の裁判官の改選があり、柳井俊二氏(前駐米大使、佐賀県知事特別顧問)が立候補するのでよろしくという依頼を古川佐賀県知事から受けました。上原理事長は迅速に SIDS のメンバーに柳井氏支援をメールで頻繁に行い、それらが功を成し、有効投票120票のうち113票を獲得しトップ当選されました。

海洋温度差発電推進機構の事業内容

本法人は、海洋温度差発電の利用推進のために以下の事業を行っていきます。

研究開発事業：海洋温度差発電に関する研究開発、機器・システムの委託設計、環境保全検討等

コンサルタント事業：他分野と積極的に交流し、産学等コーディネート、国際協力、新産業の創出、まちづくりなどの活動

人材育成事業：勉強会や研究支援を通じた次代を担う研究者の育成

普及啓発事業：講演会、セミナー、展示会を実施し、海洋温度差発電の普及啓発

学術振興事業：他の研究機関、他国の研究者と相互支援を実施し、海洋温度差発電のさらなる改良と発展への貢献

情報発信事業：会報や出版物、ホームページでの研究成果の公開

会員の募集 当法人では、海洋温度差発電の研究開発を推進するに当たって、本法人を資金面および技術面から支援して下さる会員の方を募集しております。募集内容に関しては下記事務局までお問い合わせ下さい。

OPOTECの事務所から

NPO 法人海洋温度差発電推進機構（通称：OPOTEC）は理事長の上原春男が佐賀大学在職中の平成17年3月に設立し、退職後の平成17年4月1日より佐賀市白山の佐賀事務所にて本格的に始動しました。現在は設立者である理事長 上原春男を中心に、事務局長 松本良隆、渉外部長 上原紀子、研究員 森川順一、秘書 佐々木章恵、海外渉外コーディネーター 中野フチ子、経理 井田加寿子の7名のスタッフで運営しています。



佐賀事務所への案内図



佐賀事務所

〒840-0826
佐賀市白山1丁目4-28 益本白山ビル4F
TEL : 0952-26-0903
FAX : 0952-26-1051
<http://www.opotec.jp>
E-mail : info@opotec.jp